

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	情報経済システム論特論第一		
英文授業科目名	Advanced Topics on Information Economic System 1		
開講年度	2004年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	福田 豊		
居室	西6-509		

公開E-Mail	授業関連Webページ
fukuda@hc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>たとえばe-Japan戦略のように、情報技術の導入をめぐる多くの議論は具体的・現実的になって来ている。だが、その反面、情報技術の開発・応用について、われわれが主体的に評価したり、その方向性について合意を形成したりすることが、手薄になってしまう傾向も出てきている。また、それぞれの現象の内部的な連関についても無関心になり、情報化社会をトータルにとらえる視点を失う危険性も生じてきている。このような断片化を克服するために、情報経済論は有効なのである。実際の開発や導入プロセスを観察すれば分かることであるが、経済分野での情報技術の開発や導入・応用が、現在でも情報化の基底的部分を形成しているという事実があるからである。情報経済システム論は、多様な情報化現象を統一的に理解するための、いわばプラットフォーム（共通基盤）を提供するものである。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
<p>参考書 福田・須藤・早見『情報経済論』（有斐閣アルマ） 福田 豊『情報化のトポロジー』（お茶の水書房）</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

- 1 自然科学・社会科学・人文科学?対象と行為類型と方法?
- 2 自然科学の客観性と相対性
- 3 社会科学の客観性?
- 4 社会の変容と変革?創発的テクノ・ソシオ・システムの試み?
 - (1) 革命論
 - (2) 観念主導説
 - (3) ネットワーク・コミュニケーション論

【成績評価方法および評価基準】

期末試験およびレポート

【オフィスアワー：授業相談】

メール等で連絡の上、随時おいでください。

【学生へのメッセージ】

物事を根源にたちかえって考える姿勢が大切。その際「意味」がキーワードとなろう。